

NYA会報

Nagasaki Young Generation Association

発行 ▶ NYA (社) 長崎青年協会 / 長崎市五島町2-14 長崎印刷ビル3階

TEL.095-821-1625 FAX.095-823-7375

会長 野島徹也 編集 ▶ 広報委員会 委員長 井手清治

スローガン

心意気

2001-2002

12.1

12.1月号のテーマ「年」

会長挨拶

会長 野島徹也



新春を寿ぎ謹んで御祝詞を申し上げます。大きな夢や期待とともに幕を開け、世界中に激震が走り幕を閉じた感のある21世紀元年、皆さんはいかがお過ごしでしたか。

最近では時代とともに、正月の行事も次第に簡素化されてきているようですが、江戸時代の頃は12月13日のすす払いに始まり、23日頃松飾り、25日頃餅つき、大晦日には年越しのご馳走を作り、年越しそばを食べる。元旦には家の主人が朝一番に若水汲みをし、お屠蘇を飲んだ後、初詣をする。2日、3日は年始回り、7日に7草がゆ、11日鏡開き、そして1月14日のとんど焼きまでの1か月間が正月の行事であったと聞いております。

さて青年協会におきましては、いくつもの新たな試みをしながら前進した一年ではなかったかと思えます。しかし“温故知新”の精神も忘れることなく、こだわりを持った事業の展開が必要だと思えます。そして今年度、やるべきことはまだ残っています。“心意気”を持ってこれからの協会活動、更なる飛躍へと突き進もうではありませんか。

11月臨時総会・例会

平成13年11月21日(水) / ホテルニュー長崎

先月に引き続き、ホテルニュー長崎を会場として臨時総会・例会が開催された。まず、19時より総務例会委員会による総会成立宣言、憲章唱和、会長挨拶が行なわれ、臨時総会が始まった。総務例会委員会により議長選出、議長により議事録作成人、議事録署名人が選出され、第一号議案「平成13年度補正予算案」の審議が始まった。

会員数	76名	出席者	32名	議長	増崎進一君
		委任状	22名	議事録作成人	原喜一郎君
		総数	54名	議事録署名人	野島徹也君 宮崎健太君

広瀬健司事務局長による補正予算案の説明後、満場一致での承認をもって臨時総会を終了した。

休憩の後、「ニューヨーク同時多発テロ発生による長崎の経済動向の変化」と題した「ためになる例会」が、仁藤和彦君司会により始まった。

まず米軍のテロに対する報復に対する賛否を問い(賛成、反対ほぼ同数)、続いてテロの影響が自分達の仕事にどのような影響を及ぼしたかという議題で意見



広瀬君の補正予算説明



卒業前の大役(?) 増崎君、原君



大隈君(ホテル業)の発表

を交わした。運送業の会員は「佐世保基地内がギリギリしており、入場が制限された。」など影響を受けた状況を説明した。ホテル業では沖縄への修学旅行が関西、九州へ変更になっており、長崎へも2月迄予約が入っているそうである。しかし、この状況が一時的なものであり、来年、再来年も修学旅行生、観光客が集まるかは、今回どれだけ満足して帰ってもらえるかで、今後の来崎者数として現れるであろう。



お子様誕生の前田君(左)



二次懇親会「今日は鍋だ」

又、平和学習においても、防空壕で語りべが体験を話す沖縄に対し、長崎では旅館、ホテルで語りべがパネル、スライドを使用して説明するなど違いが見られ、現地で体験学習するほうが心に残るのではないか、という意見も出された。

今回の同時多発テロにより影響を受けた者も、そうでない者も、この出来事を心に刻み、地域社会の発展に寄与する事を誓い、ためになる例会を終了した。

引き続き、役員報告、委員会報告、同好会報告が行なわれた。

委員会報告では、交流委員会から11月に行なわれた「家族懇親会」の報告・お礼と、「忘年懇親会」で行なわれる余興大会の順番決め、ルール説明が行なわれ、又、地域社会委員会からは、「福祉事業(餅つき)」の案内が行なわれた。

その後は、「誕生者祝い」、「よろこび」と続き、最後に青年協会の歌を歌い、11月臨時総会・例会を終了した。

今回の二次懇親会は28名の出席により、「すし制烹大判」にて行なわれた。

平成13年度 忘年懇親会開宴!

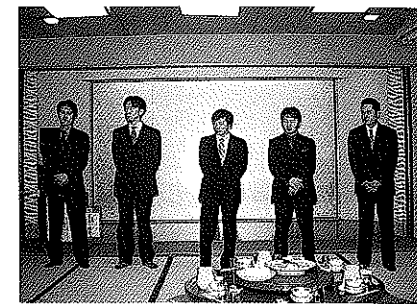
平成13年12月2日(日) / 中華菜館 福寿

毎年恒例ながら21世紀初となる『忘年懇親会』が中華菜館「福寿」にておこなわれた。

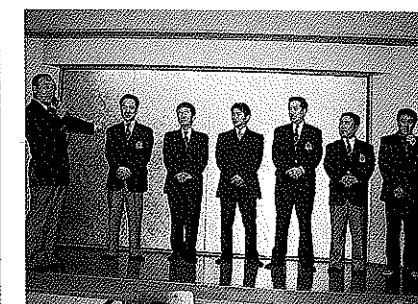
午後6時40分より「ミニ例会」が行なわれ、伊豫屋総務例会委員長司会により会長挨拶、役員・委員会・同好会の各報告が行なわれ、12月生まれ誕生者祝いと続いた。

午後7時よりOBの皆様を会場にお迎えし、三浦OB会会長からのご挨拶、昨年度卒業の6名(伊藤、河野、櫻井、田川、原田、吉田の各OB)のご紹介を頂き、沖迫監事の音頭により、皆(現役会員41名、OB会員7名)で乾杯、懇親会が開宴した。

美味しい料理とお酒を頂きながら、会員達は仲間達との懇親を大いに楽しんだ。「かくし芸大会」では「戦場のメリークリスマス」(会員交流室)、「独り委員会」(総務室)、「ダンス・ダンス・ダンス」(役員・事務局・企画推進室)、「燃えよドラゴン」(事業室)と奇抜かつ素晴らしい演技が続いた。事業室と役員・事務局・企画推進室の得点は肉薄し、微妙な差で事業室の優勝かと思われた



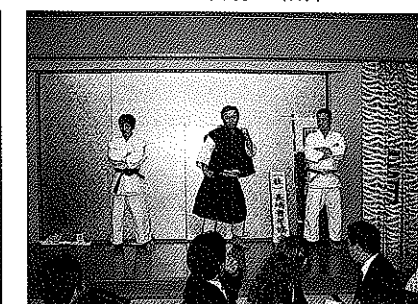
12月の誕生者



OBの皆様の紹介



優勝チームの1シーン



準優勝チームの1シーン

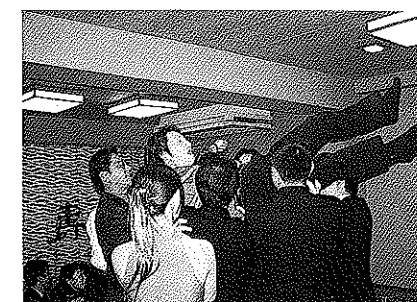
が、減点行為があり、役員・事務局・企画推進室の逆転優勝。歓喜の中で、野島会長は宙に舞った。

田川清浩次年度会長の一本締めによりお開きとなった本年度の「忘年懇親会」であるが、その熱気も冷めないうちに二次懇親会の場をラウンジ「オアシス」に移し、大いに再燃した。この日の忘年懇親会のありあまる熱は早朝まで続いていたのであろうか?翌朝は仕事があるだろうに...

この素晴らしい忘年懇親会を企画・運営した交流委員会、会員の皆さん、大変お疲れ様でした!そしてありがとう!!



盛り上がる忘年懇親会会場



「やったー!優勝だあ~!!」

家族懇親会 ～いも掘り大会につれてって!～

平成13年11月4日(日) / 野母崎町観光芋掘り園



「巨大芋を掘り出そう」



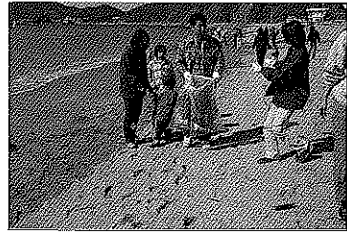
芋掘り風景



「餅つきも頑張るぞ!」



「これが巨大芋だ!!」



浜の清掃中



豚汁調理中



只今、食事中



交流委員会の面々



Vサインの山口(雄)委員長

山口雄一郎交流委員長のコメント

当日は天気にも恵まれた中、多数の参加を頂き、委員会のメンバーの協力もあり、ほぼタイムスケジュールどおりに進行が出来ました。芋掘りでは子供達だけでなく、親までもが泥だらけになりながら芋を掘り、その後の食事、計量でも独身会員も含め盛り上がりを見せました。

反省点はあるものの、委員会としては、それぞれの会員と家族が楽しく過ごすことができ、大変満足のできた事業でした。

前日の3日は雨となり、4日の開催が危ぶまれた今年の家族懇親会は絶好の秋晴れのもと、76名(大人46名、子供30名)の参加で、野母崎町の観光芋掘り園を会場に行なわれ、日頃、家族の理解の上に協会活動を行なっている会員が、その家族にも協会活動に参加、体験していただいた。

10時より芋掘り開始。親達も子供達も泥だらけになりながら、楽しそうに芋を掘る。野島会長、山室副会長を先頭に、多数参加した独身の会員達も皆に負けまいと、意地(?)になって芋を掘る。ほのぼのとした中にも、別世界に入っている者もいた。

芋掘りを1時間程で終了、脇浜海水浴場へ移動し、浜の清掃を行なった。再び場所を移動し、12時より昼食となった。食事は先程までみんなで掘り出していた新鮮な芋を使った焼き芋と豚汁で、とてもおいしかった。

その後の計量大会では山室副会長が掘り出した巨大芋に注目が集まったが、残念なことに計量不可能(1kg以上)だったが独身ということで、730gの芋を掘り出した馬渡ファミリーの優勝となった。独身者には一段と寂しい事業であった。

会員と家族が楽しく過ごした今回の家族懇親会は無事終了した。参加された皆さん、担当委員会の皆さん、お疲れ様でした。



福祉事業 (餅つき)



平成13年12月2日(日) / 特別養護老人ホーム かたふち村

お天気にも恵まれ、師走とは思えないほど暖かい中で、福祉を目的とした恒例の餅つき事業が、「かたふち村」前広場にて行なわれた。

まず、入居者の皆さんに広場に移動していただいた後、青年協会スタッフ、かたふち村関係者が見守る中で野島会長が挨拶を行い、いよいよ餅つきの開始となった。

会員はもちろん、会員の奥様、子供達、かたふち村関係者も汗を流しながら、24kgの餅をつきあげていった。

その餅は早速、鏡餅として、又、ぜんざい用として丸められ、その後の昼食で食された。今年の餅もよくつきあがっており、美味しかった。そして、今回のもちつき事業も、予定通り無事終了した。

尚、「かたふち村」では「久しぶりに餅つきを見て、なつかしむお年寄りも多かった。」という事です。

普段、入ることがない特別養護老人ホームで老人達と触れ合うことにより、福祉の重要性や、高齢化社会の問題を考える機会にもなったようだ。

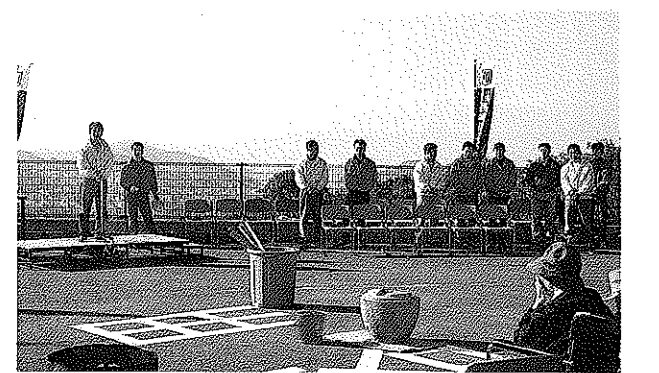
地域社会委員会の皆さん、参加された皆さん、お疲れ様でした。

三瀬健司地域社会委員長のコメント

餅つきが行なわれた日は快晴で、暖かく、当初予定していた人数をはるかにしのぐ185名の参加を頂きました。

要介護が高いお年よりとの交流に戸惑いながらも無事餅つきが終了した事と、協会員、ご家族の方、又「かたふち村」様に感謝いたします。

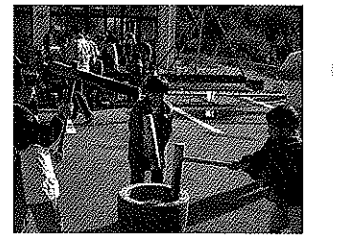
前日の夜遅くまで福祉事業の準備をお願いし、お付き合い頂いた当委員会の皆様には大変感謝いたしております。ありがとうございました。



「頑張って餅をつきましょう」



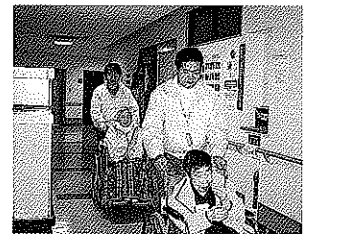
卒業記念餅つき?



子供達もがんばる



奥様達も大活躍



移動のお手伝い



Vサインの三瀬委員長



屋内では福笑いも

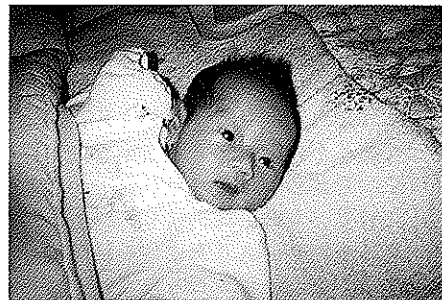


一本締めでお疲れ様

お子様誕生おめでとうございます

小川 順君 長男 ^{かえで} 楓くん

平成13年10月23日生

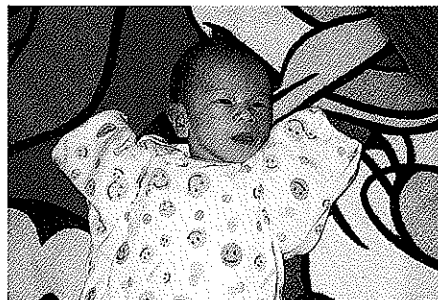


父より

「この度長男誕生で、新生活も終わり、新米パパとなりました。これからは子供の良きお手本となるよう頑張ります。」

前田 哲也君 長男 ^{はんと} 健人くん

平成13年11月6日生



父より

「心身ともに健康であってくれば、他は何も望みません。」

同好会だより

▶野球同好会

11月26日(月) ビッグNスタジアム

長崎青年会議所との親善試合が、時折雨に見舞われながら、ナイトゲームにて行なわれた。

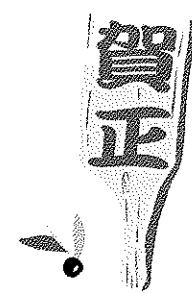
前年、敗北を喫した青年協会チームは、本年度卒業予定者である地高監督の最後の采配のもと「投」では会議所打線を2安打におさえ、「打」では6回に素晴らしい集中打を見せたものの、最終回では1アウト満塁のサヨナラ勝ちのチャンスに後続が連続三振し、試合終了となった。

リベンジならなかったものの、電光掲示板に自分の名前が点り、ウグイス嬢にアナウンスされ、カクテル光線に浮かぶ人工芝が敷きつめられた県営球場で試合が出来たことは良い思い出になっただろう。又、卒業予定者である、野島会長以下、沖迫君、原君、山室君の応援、有り難うございました。



チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	H	E
長崎青年会議所	1	0	1	0	1	0	0	3	2	1
長崎青年協会	0	0	0	0	0	3	0	3	6	3

新年明けましておめでとうございます



21世紀の扉が開いたと思ったら、アツという間に一年経過。いろいろな出来事があった平成13年でした。皆様におかれましてはどのような一年でしたでしょうか。青年協会内で、あるいは外でいろいろなことに汗をかき、涙流し、情熱を燃やし、それが良い思い出になっている事と思います。

毎回メ切におわれている広報委員会においても、息を抜く間もなくひと月ひと月が慌ただしく過ぎていき、『光陰矢の如し』を実感しています。

しかしながら、平成13年は幕を閉じて、平成13年度はあと3カ月あります。事業が終了した委員会もありますが、「まだ3カ月もある人」も「もう3カ月しかない人」も、本年度に悔いを残さないように、お互いに頑張りましょう。